

2021年3月18日

旭川医科大学 動物実験施設 御中

公益財団法人実験動物中央研究所

ICLASモニタリングセンター

検査番号: 21H264

管理No. K0061

マウスの病理学的検査結果

2021年3月11日にご依頼されました(同年3月16日受取・検査実施)マウス(ASPF(6)-WT: WT(B6), オス, 3-4ヶ月齢)の病変部検査成績は以下の如くでした。

<検査項目および結果>

外観・剖検所見



図1: 検体No.1 ASPF(6)-WTの外観・剖検所見

- ・左傍正中下腹部の腫脹
- ・左包皮腺肥大
- ・病変部内部にカスタードクリーム様淡黄色物質貯留
- ・その他, 著変を認めず。

病変部に関連した微生物学的検査

- ・包皮腺病変部の内部貯留物質から *Staphylococcus aureus* を検出。

コメント

以上の結果から、検体No.1 ASPF(6)-WT マウスにおける包皮腺病変は、*Staphylococcus aureus* 感染に起因した包皮腺膿瘍と診断されました。*Staphylococcus aureus* 感染による包皮腺膿瘍は実験動物マウスにおいて散見されます。



ICLAS Monitoring Center /Monitoring Services Laboratory